

## 第 15 回興譲館関東校友会

梅雨入り前の暑い日でしたが、6月12日（土曜日）日比谷公会堂前にある日本プレスセンター9階のホールで、原田武彦（校友会会長）、井上数馬（理事長）、小谷彰吾（校長）、村田吉隆（衆議院議員 岡本秘書）らの来賓をお迎えして第15回興譲館校友会が開催されました。また、森田教諭、沖久教諭、笹井、平賀、小谷（有信会会長、副会長）の特別参加もありました。会員43名、来賓4名、特別参加5名、招待会員8名の合計60名の参加でした。

開会に当たり3月に亡くなった前関東校友会・会長 渡辺借年氏の冥福を祈り黙祷をささげました。

立石理事長より役員改選、決算、予算などの会務報告があり、稲葉会長からは、若かりし日々の話を含めて挨拶がありました。



(来賓あいさつ)



(招待会員)

引き続き原田校友会長、井上理事長、小谷校長から、興譲館の現状の説明、特に、全国高校駅伝の男女ダブル出場に伴う支援の裏話、春の選抜高校野球出場に伴う応援体制の立ち上げ、校舎の諸設備の補充の苦労話、更に学生の近況などなど興味深い話がありました。



(乾杯)



(懇談)

恒例の白鹿洞（びやくろくどう）書院掲示の朗読は渡辺理事の先達（せんだち）で全員朗読しました。 近隣の大学に在籍の学生 8 人を交え校歌を斉唱して 1 部のセレモニーを終えました。

大塚参与（前理事長）の音頭で乾杯し、思い思い飲み物や料理をいただきながら懇談を重ねました。



（和やかな会話）



（まじめな会話？）

懇談の合間に、祝電の披露、新役員の紹介、特別参加者の紹介、招待者の紹介などがありました。 森田、沖久教諭、有信会会長・副会長は夜行バスで着き、谷中の坂谷朗蘆先生の墓参りをした後本会に参加されたそうです。

話の尽きない中 3 時に閉会になり再開を誓い合いました。

（文責 藤代裕三）